

日本のふるさと。自給自足的循環社会

広報 京丹波 1

NO.195 2022.1.17 発行 TOWN KYOTAMBA



手づくりの門松で

新年を迎える



- 02 新年のごあいさつ
- 04 交流ラウンジ紹介
- 06 ケーブルテレビからのお知らせ
- 07 表彰
- 08 安心ほっと便り
- 09 ぐらしのガイド
- 10 いきいき健康術
- 11 図書だより
- 12 生涯学習通信 TOMORROW
- 14 まちの話

令和4年 新春のごあいさつ



京丹波町長 畠中 源一

町民の皆様、明けましておめでとうございます。令和4年の輝かしい新春をお迎えになりましたこと、心からお喜び申し上げます。

昨年11月14日の町長選挙におきまして、町民の皆様の厳粛な負託を受け、町政運営に当たらせていただくこととなりました。町政をお預かりする責任の重さに、改めて身の引き締まる思いであります。町民の皆様からのお声を大切にしながら、「町民に寄り添った行政」を推進し、京丹波町のさらなる発展のため、全力を尽くしてまいります。

さて、私は活力がみなぎり、明るく温もりのある京丹波町の実現に向けて、町民の皆様とともに町政を推進してまいります。そのために、

明けましておめでとうござい
ます。
皆様におかれましては、令和4年の輝かしい希望に満ちた新春を迎えられましたことに、謹んでお祝いを申し上げます。新年にあたり、京丹波町議会を代表いたしまして、年頭のごあいさつを申し上げます。
昨年、11月14日に執行されました町議会議員一般選挙におきまして、新任5名、元職1名を含む13名の議員が選出され、不肖私が前会に引き続き京丹波町議会議長の重責を担うことになりました。微力ではありますが、新たな決意を持って、議会の活性化を図り、さらなる住民全体の福祉の向上、地

にはまず、町民の皆様が「元氣」で「希望」を持ち「笑顔」で過ごせるまちづくりが大切です。このため、「健やかで幸せな食の町」「教育と子育ての町」「人のふれあいをを感じる町」の3つの柱を掲げて施策を推進し、健やかで幸せに安心して暮らせる基盤づくりを進めます。

特に、町民の皆様が健やかで幸せな「健幸」で過ごしていただくことが最大のまちづくりの要素であると考えています。安全で健幸な京丹波町の構築に向けて「ウェルネスタウン構想」を推進していくため、調査研究を進めてまいります。皆様の生活を脅かしてきた新型コロナウイルス感染症の対策につきましては、第3回目のワクチン接種が早期に完了できるよう、関

域社会の活力ある発展を目指し、議員一同力を合わせて取り組んでまいりますので、ご支援賜りますようよろしくお願い申し上げます。さて、昨年を振り返りますと、一年遅れの開催となりましたオンラインピック・パラリンピックがコロナ禍で人々が不安を感じる中、開催されましたが、日本人選手の大きな飛躍により多くの勇気と感動を届けていただきました。

しかしながら、新型コロナウイルス対策の緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の期限は何度も延期され、先行きが見えない日々が続き、京都府内におきましても感染者が増加する状況となりました。本町では、新型コロナウイルス

議長 梅原 好範



係機関と連携し、準備を進めてまいります。

さらに、安全で安心な暮らしを守るため、日頃から献身的に活動いただいている消防団員様、民生児童委員様、区長様や関係各所の方々と連携を図りながら、災害に強いまちを構築してまいります。

また、本町は南北に長い京都府の中央部に位置し、古くから交通の要衝であり、人の交流が盛んになる可能性を秘めております。また、分水嶺に位置することから、きれいな水が育む、黒大豆や丹波くり、京野菜などの素晴らしいブランド産品があります。

「食」は本町が誇る最大の魅力です。

これまで以上にPRにも力を入れ、「食のまち京丹波」のイメージを確立するとともに、地域の特性を生かした農産物の導入や供給力の強化、食品関連産業の誘致を図るなど、農と食、産業を一体的に取り組む京丹波町独自の「フードバレー構想」を推進し、魅力と可能性を最大限に引き出すための施策を展開してまいります。

スワクチン接種推進対策室を中心に昨年5月から10月に掛けてまして高齢者から中学生までを対象とした、ワクチン接種業務を円滑に進めていただき、町民の皆様が安心・安全の確保が図られました。

今後におきましても、新たな変異株への対応や第6波への備えとして第3回目のワクチン接種が計画されており、引き続き感染防止に向けた皆様のご理解ご協力をお願い申し上げます。

このような状況におきまして、本町での明るい話題は、昨年11月1日に、町民の皆様のご念願でありました新庁舎が開庁しました。町民の皆様、町行政、町議会が一体となつて創りあげてきましたこの新庁舎が行政サービスの向上、まちづくり並びに防災の拠点としてその機能を十分に発揮し、町のシンボルとして末永く親しまれることを願っています。

議会では、新庁舎の開庁を契機に心を新たに、これまで、諸先輩議員が培ってこられました崇高な志を新議場に引き継ぎ、新庁舎と新議場を最大限に活用し、議会基

町民の皆様には、京丹波町に魅力と可能性があふれていることを自覚していただき、素晴らしい地域に住んでいるという誇りを持つてほしいと思います。

また、「人づくりはまちづくり」「まちづくりは人づくり」。子どもはまちの大切な宝です。この子どもたちを守り育てていくため、認定こども園での幼児教育や学童保育の内容を充実させるとともに、地域ぐるみで子育てや教育に関わっていただけるよう、各地域の特色を生かしたコミュニティスクール事業の充実も図り、子どもたちに町の魅力も伝えていきたいと思っております。

これらのまちづくり施策は私ひとりでは到底成しえるものではございません。町議会議員や町民の皆様、職員も一丸となり、取り組んでいく必要がありますので、引き続き、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。後になりましたが、本年も町民の皆様にとりまして、健やかで幸せな一年となりますようご祈念申し上げます。

本条例に基づき町民の皆様と共に歩む開かれた議会づくりに邁進してまいります。

いま、ここに新年を迎え、コロナ禍による閉塞感や停滞感を打ち破り健康と経済の両立、ウィズ・アフターコロナという難しい課題に対し、町行政と議会が協働し、各種の対応をさらに進めてまいります。

また、前任期中に取り組みました議会議員定数の削減及び議員報酬の改正、町民の皆様にお世話になりました町民アンケート結果の活用により議会活性化に向けた環境づくりが整いつつあります。

今後におきましても、これらの経験を踏まえ町民の皆様からいただきました大切な思いを、一人ひとりの議員が忘れることなく、地方自治の本旨であります住民の福祉の増進を図るため、町行財政運営の監視機能及び自らの政策立案機能をより高めてまいります。

結びにあたり、本年が町民の皆様にとりまして、実り多い素晴らしい一年でありますよう、心からお祈り申し上げます、年頭のごあいさつといたします。

「こだち」の使い方 いろいろ

町内在住の大学生 上西萌香さんの場合

「週4日以上利用しています」と話す上西さん。コロナがまん延する前は大学に通っていたが、コロナの影響により、大学のあり方が変わりオンラインでも授業が受けられるようになりました。「こだち」ができるまでは自宅や近隣のインターネット環境が整っている施設で、オンラインによる授業を受けていましたが、新庁舎に環境が整っているのを知り、「こだち」に通うようになりました。「来る前は雰囲気も分からないし不安でしたが、来てみると良い感じの雰囲気、うるさすぎず、またほど良くにぎわっていて勉強するにはとても良い環境でした。自宅だとなかなかモチベーションが上がらず、やる気が起きないので、近隣の図書館まで行ってましたが、近くに勉強ができる環境が整って助かっています」と話し、「通学に片道1時間半かかるので、その時間ももったいないと思っていたので、オンラインでも授業が受けられるようになり、どこにいても他の学生と同じように授業が受けられるのでうれしい」と話す上西さん。



また、「こだち」ではカフェや図書機能も備えており、小説が好きな上西さんは「勉強の合間に本を読みリラックスしています。また、カフェもよく利用しているので、今では常連さんになってます」と笑顔で話しました。

「周りで中高生などが勉強していると刺激になるので、自分の勉強にも身が入ります。もっともっと私のような学生が増えたらいいなと思っています」と利用者が増えることを願っていました。

「こだち」にあるもの

図書コーナー

雑誌や蔵書の閲覧が自由にできます。

大人は「こだち」でくつろぎながら閲覧でき、子どもは、絵本コーナーで折り紙などを楽しみながら、本を読むことができます。



こだちカフェ

コーヒーやお菓子、軽食などがあります。サンドイッチなどに挟む具材はすべて手づくりで京丹波町の食材を活用されています。会話を楽しんだり、ゆっくり本を読んだり、くつろぎの時間をお過ごしください。



[営業日時]月～土曜日
午前9時～午後6時
日祝は休み



[受付日時]火・水・金曜日 午前9時～午後7時
木・土・日曜日 午前9時～午後5時
月曜日は休室
いずれも、午前11時30分～午後0時30分は昼休み
[お問い合わせ]教育委員会 社会教育課 電話84-0028

交流ラウンジ「こだち」

みんなが集う 憩いの場

交流ラウンジの愛称「こだち」には、森の中のような澄んだ空間に子どもたちをはじめ、さまざまな人が集い未来へ広がる場所となる願いが込められています。

庁舎には、図書コーナーやカフェを備えた交流ラウンジ「こだち」を設けています。

交流ラウンジ「こだち」は、学生などが自習できるカウンタースペースや飲食ができるカフェコーナーのほか、雑誌や蔵書の閲覧や貸し借りができる図書機能も有しています。だれもがくつろいだり、仕事や勉強としたり、会話を楽しんだり気軽に利用してもらえるような交流スペースとなっています。

「こだち」でなにができる

交流ラウンジ「こだち」

[開館日時]毎日 午前8時～午後8時
12月29日～1月3日を除く

「こだち」では、だれでも自由に*Wi-Fiや電源が利用できるため、インターネットを活用した勉強などができる環境が整っています。

また、将棋や囲碁、オセロ、トランプの貸し出しのほかに、工作グッズの貸し出しや折り紙の提供も行っており、子どもから大人まで楽しめる空間となっています。ご利用の方は、「こだち」入口付近にある図書サービスカウンターにお声がけください。

さらに、「こだち」に接する「防災会議室」では、会議室の利用予約がないときは、自由に使用することができます。自習や図書の閲覧など気軽にお使いください。

*Wi-Fiの利用には別途端末ごとに設定が必要となります。
設定方法は「こだち」で確認できます。

防災会議室は、京丹波町が共催や後援する事業などに使用できます。

利用予約については、総務課まで連絡してください。

[お問い合わせ]総務課 電話82-3800



民法の改正により令和4年4月1日から成人年齢が18歳になります。

成年年齢引き下げ 18歳から大人!



成年年齢の引き下げで変わる事・変わらない事

18歳(成年)になったらできること	20歳にならないとできないこと (これまでと変わらないこと)
<ul style="list-style-type: none"> ●親の同意がなくても一人で契約できる <ul style="list-style-type: none"> ・ローンを組む ・携帯電話の契約 ・一人暮らしの部屋を借りる ●結婚(男女ともに18歳に統一) ●10年有効なパスポートの取得 	<ul style="list-style-type: none"> ●飲酒 ●喫煙 ●競馬などの公営ギャンブル ●養子を迎える

未成年は...
親の同意を得ない契約は原則として取り消すことができます。

親などの保護者(法定代理人)に守られています。



成年になると...
一人でさまざまな契約ができますが、一度結んだ契約を取り消すことが難しくなります。

成人に達した若者によくあるトラブル

トラブルのきっかけは...

- 儲(もう)け話のトラブル
- エステティックサービス、脱毛などの美容医療のトラブル

インターネット・SNSの広告、SNSで知り合った人からの勧誘、学校や職場の友人・知人からの勧誘が多く見られます。

注意することは

- ①よく確認しよう。
契約を結ぶ際には、事前に契約内容をよく確認しましょう。
- ②無理をしない。
本当に支払いができるのか、自分の収入に見合った買い物をしましょう。
- ③きっぱり断る。
うまい話はうのみにせず、契約する気がない場合はきっぱり断りましょう。
- ④加害者になることも
マルチ商法などで紹介料などの利益を得るために友人や知人を勧誘すると、大切な友人関係が壊れるだけでなく、特定商取引法の禁止行為に違反し、行政処分や刑事罰の対象になることがあります。



アドバイス

クーリングオフや消費者契約法など消費者の味方になるルールを身につけましょう。

一人で悩まず、気軽に相談してください。

『消費生活相談窓口』

京丹波町では、消費生活に関する相談や情報提供をお受けしています。

消費生活に関する連絡・相談先 ※メールでの相談はお受けしていません。

京丹波町消費生活相談窓口
電話：0771-82-3803
相談日：水・木曜日

南丹市商工課内
電話：0771-68-0100
相談日：月・火・金曜日

南丹市の相談窓口も利用いただけます。

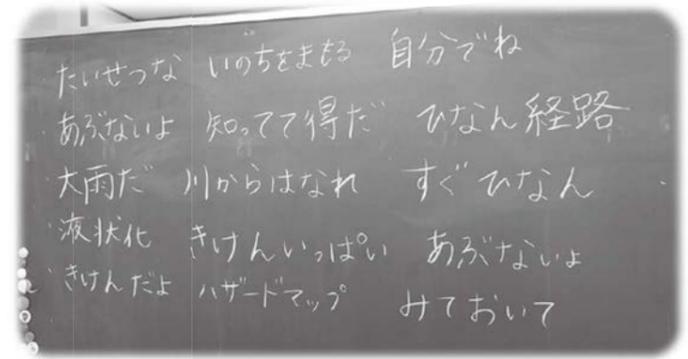


安心ほっと便り

京丹波町の「安全・安心まちづくり」を支援している
関西大学社会安全学部の取り組みを随時お伝えします

Series 21

丹波ひかり小学校 特別授業シリーズ(全6回)が終了しました



本年度は、丹波ひかり小学校の5年生児童を対象として、防災特別授業をシリーズで続けてきました。全6回(12コマ)で、地震災害や水災害、土砂災害、火災予防などに関して、多角的に学ぶことが出来ました。かなり専門的な内容も多かったので、戸惑った児童も多かったかもしれません。しかし、ワークシートの記入内容を分析した結果、当初は防災に「あまり関心がない」と回答していた児童であっても、最終回では、「関心が高まった」、「もっと学んでみたい」と回答してくれていることがわかりました。ところで、写真(右)は、最終回に児童が制作した防災川柳の一部です。「液状化」、「ハザードマップ」など、特別授業で学習してきた具体的な知識が埋め込まれていて感心しました。

「安心ほっとさん」 ひさしぶりの撮影!



みつけたっ!
まちのっ!
ほっとさんっ!

この決めのポーズ、1年以上ぶりなんです!

2021年11月27日、特別養護老人ホーム・長老苑で、「安心ほっとさん」のインタビュー撮影をおこないました。福祉避難所となる長老苑取材することは、コロナ禍に入るまえに企画されていましたが、残念ながら、ずっと見合わせてきました。出演予定だった学生はすでに卒業していることから、次の世代に引き継いでの収録作業となりました。撮影中は透明なアクリルボードで仕切って感染症対策を行い、ラストカット(写真・左)だけ声をあげずにポーズしました。

レファレンスサービス(調べもの相談)をご利用ください

「レファレンス」とは「図書館等で、資料・情報を求める利用者に対して行われる文献の紹介・提供などの援助(『広辞苑』より引用)」のことです。お求めの資料は、京都府内の図書館などから取り寄せることもできます。お気軽に図書室職員におたずねください。

利用案内

- ◎新規利用時に利用者登録が必要。
対象: 町内在住・在勤・在学者
- ※身分証明書(免許証・保険証など)が必要となりますので、ご持参ください。
- ◎貸出冊数上限1人10冊。
- ◎貸出期間2週間
(1回のみ延長可。延長期間2週間。※予約本は除く)
- ◎町内にない本は、府内の図書館などから取り寄せ可。



京都丹波木づかい運動 コラボ展のご案内

開催期間/2月1日~2月27日まで
場所/京丹波町役場 交流ラウンジ
内容/「森や木に関連する図書」と
「地域産木材を使用した製品」
のコラボ展示。

おすすめの本

「よその」が日本を変える 地域のものでづくりにチャンスあり

鎌田 由美子・著/日経BP

本書は、コロナ終息後、古くからあるものづくりや、文化に恵まれた「地域」に大きな可能性があり、そのカギとなるのが「よその」だと述べています。
地方には、地元の人が気がつかない埋もれた宝がたくさんある!
農業や観光に生かせるヒントが描かれています。



読書がたくましい脳をつくる

川島 隆太・著/くもん出版

脳科学の研究からわかった読書で成績がよくなる理由をわかりやすく解説しています。さらにスマホで調べものをしている時の脳の状態を調査した所、脳がほとんど働いていないという衝撃の結果にも触れています。
読書の大切さとスマホとの付き合い方を教えてくれる一冊です。



新しい本



- はないろいろかくれんぼ
いしかわこうじ・作絵/ポプラ社
- たろうがらすじろうがらす
かこさとし・著/復刊ドットコム
- こそあどの森の
子どもだったころ
岡田 淳・作/理論社
- 正直余裕はありません。
あね子・著/KADOKAWA
- 子どもの長所を伸ばす
5つの習慣
石田勝紀・著/集英社
- 渡る世間にやじ馬ばあさん
橋田壽賀子・著/大和書房
- 老いる意味
森村誠一・著/中央公論新社

2月の特集本&行事

★=特集本 ☆=行事

丹波中央 公民館	★「バレンタイン~愛をこめて~」 ☆おはなし会2月16日(水) 午前10時半~	交流ラウンジ 図書コーナー	★「がんばれ!受験生」他 ☆きいろいばけつによるおはなし会 2月26日(土)午後1時半~
山村開発センター みずほ図書室	★「2月22日は猫の日 猫の本」	和知 ふれあいセンター 図書室	★「ふくは~うち! 節分の本」

いきいき健康術 第174回

町立病院・診療所の医師や専門職員が健康情報をお届けします。

『かくれ脱水にご注意を!』

にしやま ゆり
西山由里 副看護師長
国保京丹波町病院



今は1月。これから寒さが一層厳しくなります。
皆さん、あまり喉が渴かないこの季節は水分補給を怠っていませんか?
体内が水分不足の状態を「脱水症状」と呼びますが、放置しておくといへん危険な状態になりますのでご注意ください。
今回は、寒い季節でも脱水症状を引き起こしやすいということをお伝えします。

体のほぼ半分を占める「水分」。成人の場合は体重の約60%、65歳以上の高齢者の場合は約50%を水分が占めています。体の水分は、汗や尿で出ていく分と、飲食で入る分のバランスで保たれています。
ところが、次のような場合、十分な水分補給をしないと脱水症状を引き起こしてしまいます。

- 暑さ 夏場の気温の高さや湿気で、大量に汗をかいてしまう
- 病気 発熱で汗や下痢、嘔吐で水分を失う
- 水分控え 胃腸の調子が悪くトイレが近くなるので、ついつい水分を控えてしまう

さらに秋から冬にかけては、上の3つとは異なる原因で水分不足となります。

その原因とは「乾燥」です。湿度が低く、乾燥する季節は皮膚から水分が蒸発する傾向にあります。また、夏に比べると喉の渴きを感じにくいいため、水分補給を怠る人も多いです。このように、知らず知らずのうちに水分が失われ、自覚のないまま脱水状態に陥ることを「かくれ脱水」といいます。

【かくれ脱水を見逃さないチェックポイント】

- 次のようなかくれ脱水のサインに早く気がつくことが大切です。
- 喉が渴く
 - 尿の色が濃くなっている
 - 風邪など病気ではないのに37℃前後の微熱がある。
さらに65歳以上の高齢者の場合は、次の症状に該当するときは、かくれ脱水に陥っている可能性があるため注意が必要です
 - 皮膚が乾燥し、つやがない。皮膚がポロポロ落ちる
 - 口の中が粘つく。つばが少なく、つばを飲み込めないことがある
 - 便秘になった、あるいは以前よりひどくなっている



かくれ脱水を防ぐ基本は、こまめな水分補給です。特に、起床や入浴、運動、飲酒の後は脱水症状を起こしやすい状態ですので水分を摂取しましょう。
高齢者の場合は特に、気温や体調の変化、喉の渴きなどを感じにくいことから、慢性的に水分が不足しがちです。服薬と同じように1日の中で時間を決めて、意識的に水分を摂取することを心がけましょう。
ただし、心疾患や腎臓病など水分制限がある人は、主治医に相談してください

町立医療施設の敷地内は全面禁煙です。
ご理解とご協力をお願いします。
京丹波町病院
電話 0771-86-0220

教育長新春のごあいさつ
新しい年の始まりにあたりまして

京丹波町教育委員会 教育長 松本和久

明けましておめでとうございませ
す。ご家族の皆様お揃いで新しい
年をお迎えになられましたことと、
心からお喜び申し上げます。
昨年は、新型コロナウイルス感染
症の拡大により日常生活に大きな
制約を受けた一年でありました。
町内の幼稚園や小・中学校では、体
育的な行事や文化的な行事は、安
心安全に工夫し取り組み、修学旅
行などの校外学習も何とか実施す
ることができました。そのような中
でも、ワクチン接種が進み、一年延
期されていた東京オリンピック、パ
ラリンピックが開催され多くの感
動を受けるなど、トンネルの向こう
にかすかな光が見え始めた一年で
もありました。昨年末に、一年を象
徴する漢字として「金」が選ばれた
のは、そのような思いも込められて
いたのではと感じています。
本町におきましては、役場の新
庁舎が完工し、認定こども園のス
タートに向け、「たんぼこども園」

の園舎についても完工いたしました
。また、コロナ禍ではありましたが、
町の園児、児童、生徒が、文
化やスポーツなどの分野で元気に
活躍した一年でもありました。こ
れらいずれもが、京丹波町にとっ
て、さらなる発展の契機となり、
本年がコロナ禍から脱して、文字
通り新しい年となることを願わず
にはおられません。

さて本年は、新たな町づくりが
スタートします。畠中町長は、子ど
もを大切にし、就学前から学校教
育まで安心して子育てしていただ
ける町づくりを町政の柱としてい
ます。4月からスタートする幼児
教育と保育を一元化した認定こ
ども園を、園児と保護者の皆様に安
心して通っていただけるように全
力を傾けてまいります。また、学童
保育の充実に向けて検討を始めた
いと考えております。

人口減少が進む中、「一人づくり
は、まちづくり」、「まちづくりは、
人づくり」の視点にたつて、地域
に支えられ、地域とともに歩む学
校づくりを進め、地域と一体とな
り、次の世代の育成に努めてまい
ります。

さらに、激しく変化し続ける社
会を生きるようになる子どもたち
には、社会の変化に対応できる確
かな学びが求められています。京
丹波の特色ある学びのスタイルを
めざす「学びを育む京丹波町メソ
ッド」の深化を目指していきます。
また、ポストコロナを見据え、人
権が大切にされ、健康で心豊かな
日々を過ごすための生涯学習の機
会が大切になります。スポーツ、文

化活動、読書などに親しんでいた
だけのように環境整備に努めてま
いります。併せて、それぞれの地域
で大切にされてきた伝統文化や文
化財を保護し、次の世代に継承し
ていただけるよう取り組む所存で
ございます。

どうか昨年と同様に、本町教育
の推進に対しまして、なお一層の
ご理解とご協力を賜りますよう
よろしくお願い申し上げます。
後になりましたが、本年も皆様
にとりまして、すばらしい年とな
りますよう心からお祈り申し上げ
て、新年にあたりましての
ごあいさつとさせていただきます。



オリンピック・
パラリンピック教育推進校
和知中学校「ボッチャ体験」



ボッチャを楽しむ中学生と保護者ら

広報紙11月号で紹介しました
オリンピック・パラリンピック教
育について、今回は、和知中学校
の取り組みを紹介します。
パラスポーツの理解や共生社
会について学ぶことを目的とし
たオリンピック・パラリンピック
教育推進事業が11月20日、和知
中学校体育館で開催されました。
中学生43人と保護者らは、京都
先端科学大学の青木好子教授
からパラスポーツの競技や東京
パラリンピックで活躍した日本
人選手についての話を聞いた後、
青木教授と大学生のサポートの
もと、8コートに分かれてパラス

中学生の感想

いろいろな人が一緒に楽し
めるスポーツなので、世界
中に広がってほしいです。

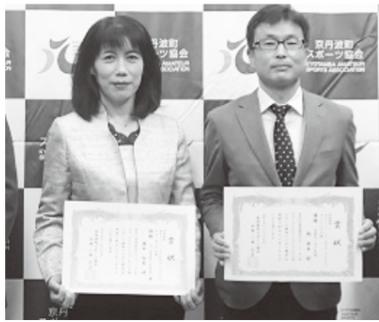
初めてボッチャをして、と
ても頭を使うスポーツなので
難しかったけれど、楽し
かったです。

ポーツのボッチャを体験しました。
投げたボールが的になるジャック
ボールに近づく、喜びの声が会
場全体に響き渡るなど、参加者
は、ボッチャを通じて楽しく交流
していました。

祝！京都サンガ F.C. J1昇格

2021 明治安田生命
J2リーグの、今シーズン
全ての試合が終了し、京丹
波町がホームタウンとして
応援する京都サンガ F.C.
は J2 リーグ 22 チーム中、
第 2 位となり、見事に J1
復帰を果たしました。
来シーズンは、J1 リーグ
で躍進する京都サンガ F.C.
を皆さんで応援してい
きましょう。2022 シーズン
の試合日程が分かり次第、
町ホームページでお知らせし
ます。

京丹波町
オクトーバー・ラン&
ウォーク2021表彰式



表彰された藤田さん(左)、橘さん(右)

11月29日、「京丹波町オクトー
バー・ラン&ウォーク2021」の
表彰を行いました。
この事業は、本町と地域協働
事業に関する包括連携協定を締
結した(株)アールビーズが主催
し、10月の1カ月間に走った距離
や歩いた歩数を競い合いながら、
自然にスポーツする習慣が身に
つくオンラインイベントです。全
国345自治体、約15万人の参
加があり、本町では、327

人が参加しました。また、ウォー
キングの部の住民人口あたりの
参加率が全国4位となり、多く
の皆さまに取り組んでいただき
ました。
ご参加いただいた皆さま、あり
がとうございました。
【優勝者】(敬称略)
ランニングの部：橘 康生
(総距離：58万5409km)
ウォーキングの部：藤田初美
(総歩数：122万2093歩)



交通事故防止を訴える
 年末の交通事故防止府民運動
 交通安全や防犯意識の向上を図るため、年末の交通事故防止府民運動(12月1日から20日)に合わせて12月1日、役場大会議室で南丹船井安心安全まちづくり大会が開催されました。
 同大会では、厚地南丹警察署長から管内の犯罪や交通事故の状況が報告され、南丹警察署員による特殊詐欺の被害を防止する寸劇などが行われた後、役場駐車場からパトカーを先頭に、防犯推進委員が運転する青色防犯パトロー



体力測定で片足でバランスを取る参加者(12月3日第1回)

ルカーが発見し、町内で啓発活動を行いました。
 また、12月7日には、南丹船井防犯推進委員会瑞穂支部が、役場瑞穂支所を訪れ、公用車に張り付ける防犯啓発ステッカーを寄贈しました。
 さらに、同じ日に瑞穂小学校も訪れ、児童の登下校の見守りに役立ててもらおうと、見守り旗10本を贈りました。この見守り旗は、瑞穂地区の委員をとおして各区にも3本ずつ配られています。
 同支部の山崎建男支部長は「見守り旗は、下校時バス停で待



南丹警察署員による特殊詐欺の被害を防止する寸劇

つておられる保護者などに活用いただきたい。地域全体で見守りを行い、防犯に対する意識づけができたらうれしい」と話しました。

体力づくりの意識向上

健康・体力づくりサポート講座
 町民の健康や体力づくりの意識向上、運動の機会づくりを応援する「健康・体力づくりサポート講座」が京都トレーニングセンターで開催されました。
 この講座は、町教育委員会が主催し、同センターと連携して実施したもので、3回行われた講座には合計24人が参加しました。
 参加者は、体力測定などを通して

自身の体の状態把握や、健康増進を目的とした栄養講習、運動を継続して行うためのメンタル講習を受けました。
 また、京都トレーニングセンターにあるトレーニング器具の使用方法や、自宅で簡単にできるトレーニングなどにも挑戦しました。
 参加した浅井清信さんは「思っていたより体が動かなかった。これを機会に体力づくりをしていきたい」と健康への意識を高めていました。

また、京都トレーニングセンターにあるトレーニング器具の使用方法や、自宅で簡単にできるトレーニングなどにも挑戦しました。
 参加した浅井清信さんは「思っていたより体が動かなかった。これを機会に体力づくりをしていきたい」と健康への意識を高めていました。



コーナーで参加者と交流する人権擁護委員

思いやる心を尊重する

人権映画会
 京丹波町人権啓発推進協議会と京丹波町、町教育委員会が主催する人権映画会が12月4日、山村開発センターみずほで行われました。
 人権週間(12月4日~10日)に合わせて行われた人権映画会では、ある出来事をきっかけに心を固く閉ざした少年が、少女や周りの人たちを、そして自分を受け入れようとする物語の映画「聲の形」が上映され、参加した122人が観賞しました。
 また、会場に人権擁護委員コーナーも設けられ、参加者に啓発グッズが配られました。

心もお腹も大満足

上 和知中部村まつり
 上和知中部村おこし委員会が主催する「上和知中部村まつり」が11月21日、旧和知第二小学校の芝生広場で開催されました。
 会場では、同会を組織する6集落の住民や有志グループなどが模擬店を出店、石窯ピザや焼き芋、豚汁などを販売し、来場者は食事や会話を楽しんでいました。
 また、ゴム長靴投げや50m走のタイムを競う競技なども行われ、多くの人でにぎわいました。



多くの人でにぎわう会場

親睦を深める

身体障害者福祉会丹波支部障害者スポーツのつどい
 11月25日、須知川水辺公園で障害者スポーツのつどいが開催されました。
 つどいは、会員同士やボランティアの人との親睦を深めるとともに、スポーツを通じて健康と体力の保持増進を図り、自立と社会参加を目指すことを目的に行われています。
 つどいには、町身体障害者福祉会丹波支部会員やボランティア21人が参加し、グラウンド・ゴルフや輪



グラウンド・ゴルフを楽しむ参加者

病児保育室「ひまわり」に関する

お問い合わせは、0771-12118 299まで連絡してください。



整備された「ひまわり」を見学する関係者

「子育て」と「仕事」の両立を応援

病児保育室「ひまわり」が利用可能に
 令和3年11月1日、病気やケガなどで集団保育が困難な子どもを一時的に預かる病児保育室「ひまわり」の利用が開始されました。

同施設は、京都中部総合医療センターに隣接して整備され、対象は、京丹波町や亀岡市、南丹市に居住する幼稚園、保育所に通園している園児となっています。

10月25日には、南丹広域振興局の南本局長のほか10人が、整備された同施設の見学を行い、完成を祝いま

人の動き (敬称略)

12月8日に開かれた議会定例会の本会議で、副町長に山森英二氏、教育長に松本和久氏の選任が同意されました。

- 副町長 (任期4年) 山森英二 (出野)
- 教育長 (任期3年) 松本和久 (南丹市)

- 教育委員会委員(任期4年) 【再任】津田勝二(橋爪) 【新任】金子和子(篠原)
- 固定資産評価審査委員会委員(任期3年) 【再任】野間雅彦(坂原)

- 選挙管理委員 (任期4年) 【再任】北村優幸(豊田) 【新任】平尾春雄(井尻) 【再任】湊 敏 (須知) 【再任】正田恭丈(小畑)

わたしたちの町

人口	13,318(-20)
男	6,356(-16)
女	6,962(-4)
世帯数	6,191(-3)

1月1日現在 / ()は前月比

ふるさと応援寄付金

【令和3年度累計】	7,232万9千円/4,238件
【令和3年11月】	1,936万円/1,062件

11月の寄付者 *敬称略

小泉 丹二	片山 山治	浦西 訓子	小山 泰彦
佐々木 一	萬利乃 寛	小西 康介	関沢 康寛
安藤 貴也	成迫 恵三	太治 之伸	村瀬 智育
土方 章光	檜山 貴志	山口 裕和	山口 真知
川崎 彩加	田川 真也	五十嵐建平	山口 義之
河野 隆志	小林 達	松浦 信彦	上田 良
西山 博	横山 篤朗	高坂 尚男	坪倉 紀幸
榎本 裕次	中島 大士	中山 龍	

*寄付者の了解を得ている方のみ掲載しています



力を合わせ大しめ縄をなう住民

力を合わせ作り上げる

【京】都祇園八坂神社本殿の大しめ縄作り
 下山地内の尾長野区で12月12日、地区住民による京都祇園八坂神社に奉納する大しめ縄作り

が行われました。

この取り組みは、同神社の分社と神撰田がある尾長野区で51年から毎年行われているもので、神撰田や地元の田で収穫した稲わらを使って作られます。

この日は、住民ら約20人が集まり、長さ3〜3.5m、直径約70cmの大しめ縄3本を含む16本のしめ縄を、力を合わせて作り上げました。

今回作られたしめ縄の内11本は、12月22日に京都祇園八坂神社へ奉納されました。

忘れないで質志鐘乳洞

① 1日限りのイベント

京都府唯一の鍾乳洞の質志鐘乳洞公園で11月21日、1日限りのイベントが開催されました。

このイベントは、コロナの影響



和楽の太鼓演奏

で約2年間閉園を余儀なくされた質志鐘乳洞公園協力会が、質志鐘乳洞を忘れないでほしいとの思いから、地域の方などの協力を得て行われました。

イベントでは、地元の野菜やおにぎり、おでん、しいたけの串揚げなどの販売のほか、和太鼓ユニット「和楽」による太鼓演奏が行われました。

質志鐘乳洞公園協力会会長の後藤哲雄ごとうたけおさんは、イベントが開催できたことを喜び、「4月から開園できるように頑張りたい」と話しました。

まちの資源を活用

【丹】波林プログラムモニターツアー

12月4日から5日にかけて、開かれた林業をテーマに、本町独自の林業体験プログラム「丹波林プログラム」のモニターツアーが行われました。

同ツアーは、林業の新たな魅力とサービスマン産業化を目指すとともに、本町の交流人口を増加させることを目的に行われたものです。

参加者は、町内産の木材をふんだんに使って建てられた新庁舎や、京丹波森林組合の協力のもと、高性能林業機械やチェーンソーを使った林業現場を見学しました。

今後も、まちの森林資源を活用した取り組みが行われていきます。



林業現場を見学する参加者

地域おこし協力隊 今月の弱のつぶやき



京丹波 ライブ開催!



明けましておめでとございませう！
 京丹波町での初めての冬、寒いですが、さまざまな寒さ対策をする度にその対策を寒さが上回ってイタチごっこを繰り返して今日この頃です！

去年の話になりますが、11月20日に京丹波町に来て初めてのお笑いライブ、その名も「京丹波ライブ」を開催しました！

場所は道の駅「和」の伝統芸能常設館。京丹波町内の方も町外からも来てくれて、席はほぼ満席。

ゲストにもりやすさんやバンバンピガロさん。大道芸、もりやすさんに京丹波町を知ってもらおうコーナー、プレゼント抽選会など盛り沢山の内容で、最初から最後まで抱腹絶倒の大盛り上がりでした。自分で言いました。

誰も言うてくれないので自分で言いました。でも誰か言うてくれても自分でも言います。

「京丹波ライブ」は定期的に行っていると思います。というか「京丹波ライブvol.2」の開催が決まりました！

3月19日(土)13時30分開演。場所は同じく道の駅「和」。ぜひぜひ来てください！

まだまだ寒くなる季節。これでもかという寒さ対策をして寒さとのイタチごっこを終わらせます。

ちなみにもりやすさんは京丹波ライブ前日に来て僕の家泊まりました。夜中の寒さに驚いた様で富士山の山頂かと思ったと言っていました。

京丹波はええとこー！今年もよろしくお願ひします！